

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	山口県立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヤマグチケンリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中国・四国地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	全学部(国際文化学部、社会福祉学部、看護栄養学部)
	担当教職員名・役職	人見英里・教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	61
	受入企業等数	47
	受入企業等名	維新国際特許事務所,岩国国際観光ホテル株式会社,エルクホームズ株式会社,大村印刷株式会社,株式会社MIHORI,株式会社エフエム山口,株式会社シティーケーブル周南,株式会社ティ・ワイ・エスピジョン,株式会社ネストハウス,株式会社花の海,株式会社ふらざFM(FMわっしょい),株式会社豆子郎,株式会社無限,株式会社銘建,株式会社山口グランドホテル,株式会社ユニサブライズ,株式会社読売旅行山口営業所,公益財団法人山口県国際交流協会,サンデン交通株式会社航空事業部,山陽小野田市役所,社会福祉法人恩賜財団済生会支部山口県済生会山口地域ケアセンター,周南リハビリテーション病院,生活協同組合コープやまぐち,テレビ山口株式会社,東横イン新山口駅新幹線口,防府市青少年科学館,防府市地域交流センターアスピラート,防府市役所,瞬報社写真印刷株式会社,松月堂製パン株式会社,三井住友海上火災保険株式会社山口支店,柳井紙工株式会社,柳井市役所,山口朝日放送株式会社,山口県立山口図書館,山口市市民活動支援センターさぼらんて,山口市役所,山口大学事務局,山口県立大学地域共生センター,やまぐち湯田温泉古稀庵,山口県庁
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	それぞれの事業所の業務内容に応じた就業体験をしている。例として印刷会社では、営業・企画・デザインに関する就業体験として、販促物の企画立案、印刷物の編集作業、デザイン部門におけるデザイン制作等。空港では、職員共にグランドスタッフ・航空地上業務の体験等。県民活動支援センターでは、インターネット等を活用した特定地域における企業の社会的責任に関する調査(情報収集)業務体験など。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次~3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全学部の学生を対象とした「全学教育」の基礎教養科目群の中で、統合科学科目群に配置されたライフスキル科目群中、キャリア教育科目として位置づけている。開講形態は演習科目である。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
要素③	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	①キャリアデザイン、働くということを考える②山口県インターンシップ推進協議会にエントリーをするための応募書類の作成③志望する業界・企業研究とインターンシップで学びたい点について目標設定④インターンシップに必要なマナーを学ぶ
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生には、体験報告会において報告を行うため、各自のインターンシップ体験をまとめたプレゼンテーションの準備(パワーポイント作成)、報告書の作成と提出、実習日誌のまとめを行うよう指導している。報告会では、6人程度のグループワークの形でお互いに発表、質疑応答を行った上で、インターンシップの意義等、事前に提示したテーマについてまとめ、最後にグループごとに発表する。この発表会は公開としている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に、学生に疑問や問題が生じた場合には、メールや電話で担当教員・職員に連絡・相談し、それに対応できる体制を取っている。学内の担当教員と職員では数十か所に上るすべての事業所の順会指導は難しいために、山口県インターンシップ協議会の複数名のインターンシップコーディネーターも巡回指導をしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	この科目は合否科目としているので、成績評価は合否のみであるが、受入事業所に所定の様式の評価表を送付し、個々の学生の評価を依頼している。この評価については、学生の開示請求があれば開示する。事業所からの評価が非常に悪い場合には、該当学生の学科教員に連絡し、個別指導を依頼している。また、報告会において全学生にアンケートを実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	事前指導・事後指導(学内):2日相当を実施インターンシップ研修(各事業所):3日から5日(受入事業所によって異なる)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前指導(学内):16時間(2時間×8回、個別指導含めず) インターンシップ研修(各事業所):3日から5日(受入事業所によって異なる)事後指導(学内):2時間(個別指導含めず)	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	前年度にインターンシップを行った学生と受け入れ先企業の担当者の方から、体験談を聞き、インターンシップで得られるもの、それまでの事前準備等について理解を深める。受入企業等から学生のインターンシップへの取り組みに対する評価を依頼し、その結果をもとに必要に応じて学生へ個別指導を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.y-internship.com/https://portal.ypu.jp/UPEX/faces/up/km/Kms00802A.jsp
問い合わせ先	大学等名	山口県立大学
	担当部署名	高等教育センター
	担当者役職名	高等教育センター所長
	担当者氏名	人見英里
	電話番号	083-929-6505
	メールアドレス	erepo@yamaguchi-pu.ac.jp